

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書(抜粋)

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 宮崎大学

(2) 大学院名

農学工学総合研究科(博士後期課程)

(3) 大学本部の位置

宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(スミシ アキノブ) 住吉 昭信 (平成19年4月)		
研究科長	(コハエ ショウイチロウ) 小八重 祥一郎 (平成19年4月)		

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

(5) - 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の名称(学位)	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
農学工学総合研究科 資源環境科学専攻 (博士後期課程)	3年	4人	12人	
生物機能応用科学専攻 (博士後期課程)	3	4	12	
物質・環境工学専攻 (博士後期課程)	3	8	24	

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

資源環境科学専攻(博士後期課程)

報告年度 区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) 4人	(-) 4人	(-) 4人	3.75倍	
志願者数	(5) 15	(-) -	(-) -		
受験者数	(5) 15	(-) -	(-) -		
合格者数	(5) 15	(-) -	(-) -		
B 入学者数	(5) 15	(-) -	(-) -		
入学定員超過率 B / A	(-) 3.75	(-) -	(-) -		

生物機能応用科学専攻(博士後期課程)

報告年度 区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-) 4人	(-) 4人	(-) 4人	0.75倍	
志願者数	(1) 3	(-) -	(-) -		
受験者数	(1) 3	(-) -	(-) -		
合格者数	(1) 3	(-) -	(-) -		
B 入学者数	(1) 3	(-) -	(-) -		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.75	(-) -	(-) -		

物質・情報工学専攻（博士後期課程）

報告年度 区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 8 人	(-) - 人	(-) - 人	0.50	
志願者数	(3) 4	(-) -	(-) -		
受験者数	(3) 4	(-) -	(-) -		
合格者数	(3) 4	(-) -	(-) -		
B 入学者数	(3) 4	(-) -	(-) -		
入学定員超過率 B / A	(-) 0.50	(-) -	(-) -		

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

資源環境科学専攻（博士後期課程）

報告年度 学 年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[4] 15			
2年次				
3年次				
計	[4] 15			

生物機能応用科学専攻（博士後期課程）

報告年度 学 年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[0] 3			
2年次				
3年次				
計	[0] 3			

物質・情報工学専攻（博士後期課程）

報告年度 学 年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[0] 4			
2年次				
3年次				
計	[0] 4			

(5) - 調査対象研究科等の退学者等の状況 (該当なし)

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成 2 0 年度	[] 人	%	左記のうち、 平成 1 9 年度入学者 人
	(主な理由)		
平成 2 1 年度	[] 人	%	左記のうち、 平成 1 9 年度入学者 人 平成 2 0 年度入学者 人
	(主な理由)		

2 授業科目の概要

< 農学工学総合研究科 資源環境科学専攻（博士後期課程） >

（1）授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目群										
研究科共通										
研究者倫理	1 前	1				7				
専修必修講義										
（環境共生科学教育コース）										
資源環境共生科学	1 前	2			13					
（持続生産科学教育コース）										
持続生産科学	1 前	2			12					
研究基盤科目群										
専攻選択講義										
（環境共生科学教育コース）										
環境共生科学特論	1 後～ 2 前		2		4	2				
社会基盤災害軽減学	1 後～ 2 前	未開講	2		1	4				学生が2年次での履修を希望したため
森林資源保全利用学	1 後～ 2 前	未開講	2		2	1				学生が2年次での履修を希望したため
草地システム科学	1 後～ 2 前	未開講	2		1	1				学生が2年次での履修を希望したため
草本植物資源開発・利用学	1 後～ 2 前	未開講	2		2	1				学生が2年次での履修を希望したため
応用動物環境管理学	1 後～ 2 前	未開講	2			1				学生が2年次での履修を希望したため
資源循環化学特論	1 後～ 2 前	未開講	2		1	3				履修希望者がいなかったため
地域社会基盤特論	1 後～ 2 前		2			2				
地域社会基盤特論	1 後～ 2 前	未開講	2		3	2				履修希望者がいなかったため
（持続生産科学教育コース）										
作物生産学	1 後～ 2 前		2		1					
先端園芸学	1 後～ 2 前		2		1	2				
ポストハーベストイコジ-	1 後～ 2 前	未開講	2		1	1				履修希望者がいなかったため
植物育種学特論	1 後～ 2 前		2		2					
分子植物病理学	1 後～ 2 前	未開講	2		1	1				履修希望者がいなかったため
動物資源生理生化学	1 後～ 2 前	未開講	2		2	1				学生が2年次での履修を希望したため
動物機能情報制御学	1 後～ 2 前	未開講	2		2	2				学生が2年次での履修を希望したため
農業環境工学特論	1 後～ 2 前	未開講	2		1	1				履修希望者がいなかったため
造林学特論	1 後～ 2 前	未開講	2		1					学生が2年次での履修を希望したため
特別研究										
（環境共生科学教育コース）										
環境共生科学特別研究	1～3	5			13	14				
（持続生産科学教育コース）										
持続生産科学特別研究	1～3	5			12	7				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 5	科目 18	科目 0	科目 23	科目 5 [0]	科目 18 [0]	科目 0 [0]	科目 23 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会基盤災害軽減学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
2	森林資源保全利用学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
3	草地システム科学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
4	草本植物資源開発・利用学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
5	応用動物環境管理学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
6	資源循環化学特論	2	1後~2前	選択	履修希望者がいなかったため
7	地域社会基盤特論	2	1後~2前	選択	履修希望者がいなかったため
8	ポストハーベストイコジ-	2	1後~2前	選択	履修希望者がいなかったため
9	分子植物病理学	2	1後~2前	選択	履修希望者がいなかったため
10	動物資源生理生化学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
11	動物機能情報制御学	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
12	農業環境工学特論	2	1後~2前	選択	履修希望者がいなかったため
13	造林学特論	2	1後~2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講の理由が、「学生が2年次での履修を希望したため」及び「履修希望者がいなかったため」であるので、特になし。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.56$$

< 農学工学総合研究科 生物機能応用科学専攻（博士後期課程） >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目群										
研究科共通										
研究者倫理	1 前	1				7				
専修必修講義										
(生命機能科学教育コース)										
生命機能利用学	1 前	2			6					
(水域生物科学教育コース)										
水域生物科学	1 前	2			10					
研究基盤科目群										
専攻選択講義										
(生命機能科学教育コース)										
微生物機能利用学	1後 2前 未開講		2		2	1				履修希望者がいなかったため
生体情報解析学	1後 2前 未開講		2			2				学生が2年次での履修を希望したため
生物応用工学	1後 2前 未開講		2		1	1				履修希望者がいなかったため
応用生物化学	1後 2前 未開講		2		1	1				学生が2年次での履修を希望したため
食品機能化学	1後 2前 未開講		2		2					履修希望者がいなかったため
生物物質工学	1後 2前 未開講		2		2					履修希望者がいなかったため
(水域生物科学教育コース)										
水域生命利用化学	1後 2前 未開講		2		4	1				履修希望者がいなかったため
水域資源生物学	1後 2前 未開講		2		3					履修希望者がいなかったため
水族分子生物学	1後~ 2前		2		1	1				
水族生理・病理学	1後~ 2前		2		2	1				
特別研究										
(生命機能科学教育コース)										
生命機能科学特別研究	1~3	5			8	5				
(水域生物科学教育コース)										
水域生物科学特別研究	1~3	5			10	3				

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
5	10	0	15	5	10	0	15	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	微生物機能利用学	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
2	生体情報解析学	2	1後～2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
3	生物応用工学	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
4	応用生物化学	2	1後～2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
5	食品機能化学	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
6	生物物質工学	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
7	水域生命利用化学	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
8	水域資源生物学	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講の理由が、「学生が2年次での履修を希望したため」及び「履修希望者がいなかったため」であるので、特になし。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.53$$

< 農学工学総合研究科 物質・情報工学専攻（博士後期課程） >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備 考
		必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目群										
研究科共通										
研究者倫理	1 前	1				7				
専修必修講義										
(新材料エネルギー工学教育コース)										
エネルギー変換論	1 前	2				8				
(生産工学教育コース)										
設計生産システム論	1 前	2				7				
(数理情報工学教育コース)										
数理情報工学論	1 前 未開講	2				6				履修希望者がいなかったため
研究基盤科目群										
専攻選択講義										
(新材料エネルギー工学教育コース)										
機能性材料特論	1 後- 2 前 未開講		2			2	1			学生が2年次での履修を希望したため
光・レーザー工学特論	1後- 2前		2			2	2			
半導体材料特論	1後- 2前		2			1	3			
エネルギー応用工学特論	1後- 2前		2			1	1			
量子エネルギー特論	1 後- 2 前 未開講		2			1	2			履修希望者がいなかったため
宇宙エネルギー工学特論	1 後- 2 前 未開講		2			1	2			履修希望者がいなかったため
(生産工学教育コース)										
設計生産技術特論	1 後- 2 前 未開講		2			2	2			履修希望者がいなかったため
可視化情報振動工学特論	1後- 2前		2			2	2			
制御システム特論	1 後- 2 前 未開講		2			2				履修希望者がいなかったため
高度生産情報システム特論	1 後- 2 前 未開講		2			1	3			履修希望者がいなかったため
(数理情報工学教育コース)										
生物の数理モデル特論	1 後- 2 前 未開講		2			2	3			履修希望者がいなかったため
情報処理ソフトウェア特論	1 後- 2 前 未開講		2			2	2			履修希望者がいなかったため
情報処理ハードウェア特論	1 後- 2 前 未開講		2			2	3			履修希望者がいなかったため
特別研究										
(新材料エネルギー工学教育コース)										
新材料エネルギー工学特別研究	1 ~ 3	5				8	12			
(生産工学教育コース)										
生産工学特別研究	1 ~ 3	5				7	7			
(数理情報工学教育コース)										
数理情報工学特別研究	1 ~ 3 未開講	5				6	8			履修希望者がいなかったため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	13	0	20	7	13	0	20	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	数理情報工学論	2	1前	必修	履修希望者がいなかったため
2	機能性材料特論	2	1後～2前	選択	学生が2年次での履修を希望したため
3	量子エネルギー特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
4	宇宙エネルギー工学特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
5	設計生産技術特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
6	制御システム特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
7	高度生産情報システム特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
8	生物の数理モデル特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
9	情報処理ソフトウェア特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
10	情報処理ハードウェア特論	2	1後～2前	選択	履修希望者がいなかったため
11	数理情報工学特別研究	5	1～3	必修	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講の理由が、「学生が2年次での履修を希望したため」及び「履修希望者がいなかったため」であるので、特になし。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.55$$

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	全学			
	m ² 998,725	m ² 0	m ² 0	m ² 998,725				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	全学			
	101,153 (101,153 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	101,153 (101,153 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	全学		
	72 室	85 室	617 室	20 室 (補助職員 2人)	3 室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	農学工学総合研究科(博士後期課程)		120 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	農学工学総合 研究科	104,702〔20,110〕 (104,702〔20,110〕)	13,323〔3,162〕 (13,323〔3,162〕)	3,800〔3,800〕 (3,800〔3,800〕)	42 (42)	423 (423)	7,536 (7,536)	
	計	104,702〔20,110〕 (104,702〔20,110〕)	13,323〔3,162〕 (13,323〔3,162〕)	3,800〔3,800〕 (3,800〔3,800〕)	42 (42)	423 (423)	7,536 (7,536)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		全学	
	6,437m ²		439席		591,643冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					全学
	4,914m ²		武道館、弓道場、多目的グラウンド、球技コート、テニスコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による。
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

4 既設大学等の状況

大学の名称	宮崎大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育文化学部									
学校教育課程	4	100		400	学士(教育学)	1.09	平成15年度	宮崎県宮崎市学園 木花台西1丁目1番 地	
地域文化課程	4	30		120	学士(教養)	1.08	平成15年度		
生活文化課程	4	40		160	学士(教養)	1.12	平成15年度		
社会システム課程	4	60		240	学士(教養)	1.01	平成15年度		
医学部									
医学科	6	100	} 3年次 10	600	学士(医学)	1.00	平成15年度	宮崎県宮崎郡清武 町大字木原520 0番地	
看護学科	4	60		260	学士(看護学)	1.00	平成15年度		
工学部									
材料物理工学科	4	49	} 3年次 10	198	学士(工学)	1.05	平成15年度	宮崎県宮崎市学 園木花台西1丁 目1番地	
物質環境化学科	4	68		276	学士(工学)	1.02	平成15年度		
電気電子工学科	4	88		356	学士(工学)	1.01	平成15年度		
土木環境工学科	4	58		236	学士(工学)	1.02	平成15年度		
機械システム工学科	4	49		198	学士(工学)	1.06	平成15年度		
情報システム工学	4	58		236	学士(工学)	1.03	平成15年度		
農学部									
食料生産科学科	4	60		240	学士(農学)	1.05	平成15年度	宮崎県宮崎市学 園木花台西1丁 目1番地	
生物環境科学科	4	65		260	学士(農学)	1.06	平成15年度		
地域農業システム学科	4	55		220	学士(農学)	1.10	平成15年度		
応用生物科学科	4	55		220	学士(農学)	1.05	平成15年度		
獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.05	平成15年度		

大学の名称	宮崎大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学研究科 (修士課程) 学校教育専攻 教科教育専攻	2 2	8 30		16 60	修士(教育学) 修士(教育学)	1.99 0.64	平成15年度 平成15年度	宮崎県宮崎市学 園木花台西1丁 目1番地	
医学系研究科 (修士課程) 医科学専攻 看護学専攻	2 2	15 10		30 20	修士(医科学) 修士(看護学)	0.69 1.20	平成15年度 平成17年度	宮崎県宮崎郡清武 町大字木原520 0番地	
医学系研究科 (博士課程) 細胞・器官系専攻 生体制御系専攻 生体防衛機構系専攻 環境生態系専攻	4 4 4 4	10 12 4 4		40 48 16 16	博士(医学) 博士(医学) 博士(医学) 博士(医学)	0.75 1.22 0.25 0.31	平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度	宮崎県宮崎郡清 武町大字木原5 200番地	
工学研究科 (修士課程) 応用物理学専攻 物質環境化学専攻 電気電子工学専攻 土木環境工学専攻 機械システム工学専攻 情報システム工学専攻	2 2 2 2 2 2	15 21 27 18 15 18		30 42 54 36 30 36	修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学) 修士(工学)	0.89 1.21 1.18 1.13 1.16 1.30	平成17年度 平成17年度 平成15年度 平成15年度 平成15年度 平成17年度	宮崎県宮崎市学 園木花台西1丁 目1番地	
農学研究科 (修士課程) 生物生産科学専攻 地域資源管理科学専攻 森林草地環境科学専攻 水産科学専攻 応用生物科学専攻	2 2 2 2 2	16 12 10 10 20		32 24 20 20 40	修士(農学) 修士(学術) 修士(学術) 修士(水産学) 修士(農学) 修士(学術)	1.13 0.74 1.30 1.09 1.34	平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度 平成17年度	宮崎県宮崎市学 園木花台西1丁 目1番地	

5 教員組織の状況

< 農学工学総合研究科 資源環境科学専攻（博士後期課程） >

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	杉本 安寛	平成19年4月	資源環境共生科学 環境共生科学特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	目黒 貞利	平成19年4月	資源環境共生科学 森林資源保全利用学 環境共生科学特別研究						
専	教授	川村 修	平成19年4月	資源環境共生科学 草本植物資源開発・利用学 環境共生科学特別研究						
専	教授	平田 昌彦	平成19年4月	資源環境共生科学 草地システム科学 環境共生科学特別研究						
専	教授	西脇 亜也	平成19年4月	資源環境共生科学 環境共生科学特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	甲斐 重貴	平成19年4月	資源環境共生科学 森林資源保全利用学 環境共生科学特別研究						
専	教授	稲垣 仁根	平成19年4月	資源環境共生科学 環境共生科学特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	明石 良	平成19年4月	資源環境共生科学 草本植物資源開発・利用学 環境共生科学特別研究						
専	教授	中澤 隆雄	平成19年4月	資源環境共生科学 地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	今井 富士夫	平成19年4月	資源環境共生科学 地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	原田 隆典	平成19年4月	資源環境共生科学 社会基盤災害軽減学 地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	増田 純雄	平成19年4月	資源環境共生科学 環境共生科学特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	馬場 由成	平成19年4月	資源環境共生科学 資源循環化学特論 環境共生科学特別研究						
専	教授	上運天 博	平成19年4月	持続生産科学 分子植物病理学 持続生産科学特別研究						
専	教授	原田 宏	平成19年4月	持続生産科学 動物機能情報制御学 持続生産科学特別研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	芦澤 幸二	平成19年4月	持続生産科学 動物機能情報制御学 持続生産科学特別研究						
専	教授	藪谷 勤	平成19年4月	持続生産科学 植物育種学特論 持続生産科学特別研究						
専	教授	六車 三治男	平成19年4月	持続生産科学 動物資源生理生化学 持続生産科学特別研究						
専	教授	御手洗 正文	平成19年4月	持続生産科学 農業環境工学特論 持続生産科学特別研究						
専	教授	位田 晴久	平成19年4月	持続生産科学 先端園芸学 持続生産科学特別研究						
専	教授	辰巳 保夫	平成19年4月	持続生産科学 持続生産科学特別研究						
専	教授	小川 紹文	平成19年4月	持続生産科学 作物生産学 持続生産科学特別研究						
専	教授	入江 正和	平成19年4月	持続生産科学 動物資源生理生化学 持続生産科学特別研究						
専	教授	中尾 登志雄	平成19年4月	持続生産科学 造林学特論 持続生産科学特別研究						
専	教授	國武 久登	平成19年4月	持続生産科学 植物育種学特論 持続生産科学特別研究						
専	准教授	山本 直之	平成19年4月	社会基盤災害軽減学 環境共生科学特別研究						
専	准教授	伊藤 哲	平成19年4月	森林資源保全利用学 環境共生科学特別研究						
専	准教授	石井 康之	平成19年4月	草本植物資源開発・利用学 環境共生科学特別研究						
専	准教授	飛佐 学	平成19年4月	草地システム科学 環境共生科学特別研究						
専	准教授	長谷川 信美	平成19年4月	応用動物環境管理学 動物機能情報制御学 環境共生科学特別研究						
専	准教授	瀬崎 満弘	平成19年4月	社会基盤災害軽減学 地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究						

認可時の計画				変更状況				備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)		就任予定年月
専	准教授	土手 裕	平成19年4月	環境共生科学特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	吉武 哲信	平成19年4月	社会基盤災害軽減学 地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	出口 近士	平成19年4月	地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	村上 啓介	平成19年4月	社会基盤災害軽減学 地域社会基盤特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	松下 洋一	平成19年4月	研究者倫理 資源循環化学特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	塩盛 弘一郎	平成19年4月	資源循環化学特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	大島 達也	平成19年4月	資源循環化学特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	鈴木 祥広	平成19年4月	環境共生科学特論 環境共生科学特別研究					
専	准教授	津野 和宣	平成19年4月	分子植物病理学 持続生産科学特別研究					
専	准教授	鉄村 琢哉	平成19年4月	先端園芸学 持続生産科学特別研究					
専	准教授	森田 哲夫	平成19年4月	動物資源生理生化学 持続生産科学特別研究					
専	准教授	續木 靖浩	平成19年4月	動物機能情報制御学 持続生産科学特別研究					
専	准教授	宮島 大一郎	平成19年4月	先端園芸学 持続生産科学特別研究					
専	准教授	足立 勝	平成19年4月	持続生産科学特別研究					
専	准教授	山村 善洋	平成19年4月	農業環境工学特論 持続生産科学特別研究					
兼任	講師	守屋 和幸	平成19年4月	研究者倫理					
兼任	講師	楠田 哲也	平成19年4月	研究者倫理					

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
40	6	46	0	40	6	46	0	
(40)	(6)	(46)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由 (なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

< 農学工学総合研究科 生物機能応用科学専攻 (博士後期課程) >

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	林 幸男	平成19年 4月	生命機能利用学 微生物機能利用学 生命機能科学特別研究						
専	教授	横井 春比古	平成19年 4月	生命機能利用学 生物応用工学 生命機能科学特別研究						
専	教授	太田 一良	平成19年 4月	生命機能利用学 微生物機能利用学 生命機能科学特別研究						
専	教授	水光 正仁	平成19年 4月	生命機能利用学 応用生物化学 生命機能科学特別研究						
専	教授	福田 亘博	平成19年 4月	生命機能利用学 食品機能化学 生命機能科学特別研究						
専	教授	窄野 昌信	平成19年 4月	生命機能利用学 食品機能化学 生命機能科学特別研究						
専	教授	松井 隆尚	平成19年 4月	生物物質工学 生命機能科学特別研究						
専	教授	小川 喜八郎	平成19年 4月	生物物質工学 生命機能科学特別研究						
専	教授	三浦 知之	平成19年 4月	水域生物科学 水域資源生物学 水域生物科学特別研究						
専	教授	岩槻 幸雄	平成19年 4月	水域生物科学 水域資源生物学 水域生物科学特別研究						
専	教授	前田 昌調	平成19年 4月	水域生物科学 水域生命利用化学 水域生物科学特別研究						
専	教授	香川 浩彦	平成19年 4月	水域生物科学 水族生理・病理学 水域生物科学特別研究						
専	教授	伊丹 利明	平成19年 4月	水域生物科学 水族生理・病理学 水域生物科学特別研究						
専	教授	酒井 正博	平成19年 4月	水域生物科学 水族分子生物学 水域生物科学特別研究						
専	教授	村田 寿	平成19年 4月	水域生物科学 水域生命利用化学 水域生物科学特別研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	幡手 英雄	平成19年4月	水域生物学 水域生命利用化学 水域生物学特別研究						
専	教授	境 正	平成19年4月	水域生物学 水域生命利用化学 水域生物学特別研究						
専	教授	神田 猛	平成19年4月	水域生物学 水域資源生物学 水域生物学特別研究						
専	准教授	湯井 敏文	平成19年4月	生体情報解析学 生命機能科学特別研究						
専	准教授	廣瀬 遵	平成19年4月	研究者倫理 生物応用工学 生命機能科学特別研究						
専	准教授	吉田 直人	平成19年4月	微生物機能利用学 生命機能科学特別研究						
専	准教授	榊原 陽一	平成19年4月	研究者倫理 生体情報解析学 生命機能科学特別研究						
専	准教授	江藤 望	平成19年4月	応用生物化学 生命機能科学特別研究						
専	准教授	吉田 照豊	平成19年4月	研究者倫理 水族生理・病理学 水域生物学特別研究						
専	准教授	林 雅弘	平成19年4月	水域生命利用化学 水域生物学特別研究						
専	准教授	荒西 太士	平成19年4月	水族分子生物学 水域生物学特別研究						

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
22	4	26	0	22	4	26	0	
(22)	(4)	(26)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由 (なし)

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

< 農学工学総合研究科 物質・情報工学専攻 (博士後期課程) >

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	尾関 雅志	平成19年4月	エネルギー変換論 半導体材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	木島 剛	平成19年4月	エネルギー変換論 機能性材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	田畑 研二	平成19年4月	エネルギー変換論 機能性材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	保田 昌秀	平成19年4月	エネルギー変換論 光・レーザー-工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	窪寺 昌一	平成19年4月	エネルギー変換論 光・レーザー-工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	大坪 昌久	平成19年4月	エネルギー変換論 材料-応用工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	大崎 明彦	平成19年4月	エネルギー変換論 量子エネルギー特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	廿日出 勇	平成19年4月	エネルギー変換論 宇宙工学-工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	教授	池田 清彦	平成19年4月	設計生産システム論 設計生産技術特論 生産工学特別研究						
専	教授	菊地 正憲	平成19年4月	設計生産システム論 可視化情報振動工学特論 生産工学特別研究						
専	教授	中西 勉	平成19年4月	設計生産システム論 設計生産技術特論 生産工学特別研究						
専	教授	富田 重幸	平成19年4月	設計生産システム論 高度生産情報システム特論 生産工学特別研究						
専	教授	佐藤 治	平成19年4月	設計生産システム論 制御システム特論 生産工学特別研究						
専	教授	河野 通夫	平成19年4月	設計生産システム論 制御システム特論 生産工学特別研究						
専	教授	小園 茂平	平成19年4月	設計生産システム論 可視化情報振動工学特論 生産工学特別研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	吉原 郁夫	平成19年4月	数理情報工学論 情報処理ソフトウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	教授	村尾 健次	平成19年4月	数理情報工学論 情報処理ハードウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	教授	横田 光広	平成19年4月	数理情報工学論 情報処理ハードウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	教授	古谷 博史	平成19年4月	数理情報工学論 情報処理ソフトウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	教授	辻川 亨	平成19年4月	数理情報工学論 生物の数理モデリング特論 数理情報工学特別研究						
専	教授	仙葉 隆	平成19年4月	数理情報工学論 生物の数理モデリング特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	前田 幸治	平成19年4月	半導体材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	吉野 賢二	平成19年4月	半導体材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	甲藤 正人	平成19年4月	新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	横谷 篤至	平成19年4月	光・レーザー-工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	福山 敦彦	平成19年4月	半導体材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	酒井 剛	平成19年4月	機能性材料特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	白上 努	平成19年4月	光・レーザー-工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	青山 智夫	平成19年4月	エネルギー-応用工学特論 新材料工学-工学特別研究						
専	准教授	松田 達郎	平成19年4月	研究者倫理 量子エネルギー特論 新材料工学-工学特別研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	山内 誠	平成19年4月	宇宙I科特論 新材料科特論-工学特別研究						
専	准教授	五十嵐 明則	平成19年4月	量子エネルギー特論 新材料科特論-工学特別研究						
専	准教授	森 浩二	平成19年4月	宇宙I科特論 新材料科特論-工学特別研究						
専	准教授	岡部 匡	平成19年4月	可視化情報振動工学特論 生産工学特別研究						
専	准教授	海津 浩一	平成19年4月	設計生産技術特論 生産工学特別研究						
専	准教授	川末 紀功仁	平成19年4月	可視化情報振動工学特論 生産工学特別研究						
専	准教授	鄧 鋼	平成19年4月	研究者倫理 設計生産技術特論 生産工学特別研究						
専	准教授	岡崎 直宣	平成19年4月	高度生産情報システム特論 生産工学特別研究						
専	准教授	片山 徹郎	平成19年4月	高度生産情報システム特論 生産工学特別研究						
専	准教授	池田 諭	平成19年4月	高度生産情報システム特論 生産工学特別研究						
専	准教授	横道 政裕	平成19年4月	情報処理ハードウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	淡野 公一	平成19年4月	情報処理ハードウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	松本 寛樹	平成19年4月	情報処理ハードウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	山森 一人	平成19年4月	研究者倫理 情報処理ソフトウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	坂本 真人	平成19年4月	生物の数理モデリング特論 数理情報工学特別研究						

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	伊達 章	平成19年4月	情報処理リトウェア特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	矢崎 成俊	平成19年4月	生物の数理モデリング特論 数理情報工学特別研究						
専	准教授	大塚 浩史	平成19年4月	生物の数理モデリング特論 数理情報工学特別研究						
兼任	教授	村上 昇	平成19年4月	生物の数理モデリング特論						

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
39	9	48	0	39	9	48	0	
(39)	(9)	(48)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由 (なし)

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			
3			

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p style="text-align: center;">認 可 時</p> <p>(平成18年11月30日)</p>	<p>【資源環境科学専攻】</p> <p>設置の趣旨に挙げる農学と工学の連携・融合における融合科目設置の意義について、学生の理解が得られるように配慮すること。</p>	<p>平成19年4月4日(水)に新入生に対しオリエンテーションを行い、農学と工学との連携・融合科目の設置の意義を説明した。</p>	
	<p>コーディネータが管理能力を発揮できるような体制づくりに努めること。</p>	<p>各教科目にコーディネーターを配置し、講義開始前に各教科目の教育内容に沿って教員毎の教育内容を点検・調整し、総合的にシラバスの「授業のねらい」に合致するような教育内容となるよう指導できる体制にする。また、講義終了後に、コーディネーターは各教員の授業の実施状況を点検し、次年度に向けた改善点を明らかにする。</p>	
	<p>学位として博士(農学)、博士(工学)、博士(学術)を付与するとあるが、それぞれの学位について学位授与プロセスが明確となるように配慮すること。</p>	<p>教育課程を踏まえた学位取得までの履修モデルおよび学位取得プロセス(標準モデル)をシラバスに示した。また、各学生に対し、主指導教員1名、副指導教員2名以上を配置する。学生が希望する学位に合致した教科目を学習・取得するよう主指導教員と副指導教員が協議し、学生を指導、また、各々の学位に沿った研究テーマ、研究計画の策定を行う。</p>	
	<p>【生物機能応用科学専攻】</p> <p>設置の趣旨に挙げる農学と工学の連携・融合における融合科目設置の意義について、学生の理解が得られるように配慮すること。</p>	<p>平成19年4月4日(水)に新入生に対しオリエンテーションを行った。その際、農学と工学との連携・融合科目の設置の意義を説明した。</p>	
	<p>コーディネータが管理能力を発揮できるような体制づくりに努めること。</p>	<p>教科目にコーディネーターを配置し、講義開始前に各教科目の教育内容に沿って教員毎の教育内容を点検・調整し、総合的にシラバスの「授業のねらい」に合致するような教育内容となるよう指導できる体制にする。また、講義終了後に、コーディネーターは各教員の授業の実施状況を点検し、次年度に向けた改善点を明らかにする。</p>	
	<p>学位として博士(農学)、博士(工学)、博士(学術)を付与するとあるが、それぞれの学位について学位授与プロセスが明確となるように配慮すること。</p>	<p>教育課程を踏まえた学位取得までの履修モデルおよび学位取得プロセス(標準モデル)をシラバスに示した。また、各学生に対し、主指導教員1名、副指導教員2名以上を配置する。学生が希望する学位に合致した教科目を学習・取得するよう主指導教員と副指導教員が協議し、学生を指導、また、各々の学位に沿った研究テーマ、研究計画の策定を行う。</p>	

	<p>【物質・情報工学専攻】</p> <p>設置計画の実施過程で大学院教育の実質化に関連する取組を強化すること。</p>		<p>【基礎科目群】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究者倫理：コーディネーターを配置し、講義計画および講義分担を明確にして講義を実施する。 ・専攻必修講義： コーディネーターを配置し、講義計画および講義分担を明確にして講義を実施する。 <p>【研究基盤科目群】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻選択講義： コーディネーターが、学生・主指導教員・講義担当教員と協議をして、講義計画を立てて講義を実施する。 <p>【特別研究】</p> <p>学生は、指導教員及び副指導教員の研究指導に従い、研究計画を策定し、その研究計画の下に実験や理論を展開して研究論文を仕上げていく。指導生に対して以下の指導を行う。</p> <p>第一段階では、研究テーマの設定に必要な文献調査、興味を持つ研究領域の動向・将来性などについての文献調査を行い、的確な研究遂行計画を策定する。</p> <p>第二段階では、研究の進捗過程で生じる実験装置の設計と組み立て、機材・資料の準備、データや文献収集を行う。さらに、学生は、研究の進捗状況を専攻毎に開催するセミナーにおいて英語による口頭発表を2回行う（ただし、外国人留学生については日本語でもよい）。さらに、まとまった研究成果は学会等で学外に発表する。</p> <p>第三段階では、これまでの学術誌投稿論文や主要な国際会議での発表論文を纏め、学位論文の作成、博士論文審査会での発表などについて、指導を行う。</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (平成19年4月20日)</p>	<p>該当なし</p>		

7 その他全般的事項

< 農学工学総合研究科（博士後期課程） >

（１）設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	設置初年度のため変更なし

（２）自己点検・評価等に関する事項

<p>設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>平成20年度に農学工学総合研究科に関する自己点検・評価(中間評価)を行うために、平成19年度中に目標計画・評価専門委員会及び自己点検専門委員会を設置する。</p> <p>自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>平成19年度中に目標計画・評価専門委員会及び自己点検専門委員会を設置し、公表時期を決定する。</p> <p>b 公表方法</p> <p>平成19年度中に目標計画・評価専門委員会及び自己点検専門委員会を設置し、公表時期を決定する。</p> <p>認証評価を受ける計画</p> <p>平成19年度に独立行政法人大学評価・学位授与機構の評価を受ける予定である。</p>

(3) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (平成19年7月予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成19年7月予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)